

令和3年 年頭のあいさつ



新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政推進に格別のご理解とご協力を頂いておりますことに對し、深く感謝を申し上げます。

オリンピックイヤーとして希望あふれる明るい新年を迎えたはずの2020年でありましたが、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、多くの国民的行事、地域での行事が中止や延期を余儀なくされました。未だに収束の兆しをみせておりませんが、コロナ禍を契機に「新しい生活様式」としてすべての分野において大きな変革が求められております。都市への一極集中の弊害が叫ばれる中で、地方自治体にとっては大きなチャンスと捉えつつ、町民のみなさんが安心して暮らせるまちづくりに取り組んで参ります。また、本県出身者として初の内閣総理大臣に就任した菅義偉総理による2050年カーボンニュートラル

宣言により、今後は本町沖で進む洋上風力発電や有力な候補地であるCS事業の推進が図られるものと大きな期待がもたれます。

さて、令和3年度からの町の指針となる「総合計画」、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「国土強靱化地域計画」を一本化した新たな計画を策定中であり、計画に則した事業展開を図り、産業・企業振興、農業振興、観光振興など各分野の振興に取り組んで参ります。人口減少・少子高齢化の進む厳しい時代であることを十分に認識しながら、これまで展開してきた事業を精査し、必要な事業の拡充と新たな事業の創設に注力して参ります。また、新たに予定している「子育て交流施設」を整備することにより、保育園の適正配置や子育て支援策の推進、そして、令和2年度中に策定予定の小中学校の再編計画をもとに、子どもたちに必要な教育環境を整えていくためにも小中学校の統合について具体的な検討をして参ります。

巡回・ふれあいバス事業では、利用者や共助団体、交通事業者の理解を得ながら継続可能な本格運行への準備を進め交通・買物支援対策を充実させること、自治会からの要望に応えるため町道の改良・補修にはしっかりと予算を確保すること、子育て世代の定住、空き家対策への補助等、町民の安全安心な生活確保に取り組むこと、温泉施設改良事業では環境省の補助事業を活用しながら温泉施設の更新工事を進め、森岳温泉利用者のサービス向上に努めること等、継続して取り組んできた課題に対して事業の推進を図って参ります。

コロナ禍で大変厳しい時代ではありますが、町民が安心して生活できる環境、幸せを体感できるまちづくりに邁進して参りますので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。結びに、町民のみなさんにとりまして、明るい話題と笑顔の絶えない幸せな年となりますことをお祈り申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

写真：三種三十六景「寒い朝」